

科目名	経営戦略論／経営戦略	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	土屋 翔	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-2-440017	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	<p>本講義では、経営学において重要な学問である経営戦略の理論を学ぶ。また、実践的な事例を通して理論習得を深める。</p> <p>さらに、経営戦略の代表的な理論やキーワードを使って実際の企業について分析できることを身につける。</p> <p>こうしたことを学ぶことによって「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の代表的な理論やキーワードを使って実際の企業について分析できることを身につける。 ・「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション（ガイダンス）
第2回	経営戦略の体系
第3回	経営戦略の考え方

第4回	哲学的視点の必要性
第5回	デザイン・スクール①
第6回	デザイン・スクール②
第7回	デザイン・スクール③
第8回	プランニング・スクール①
第9回	プランニング・スクール②
第10回	プランニング・スクール③
第11回	ポジショニング・スクール①
第12回	ポジショニング・スクール②
第13回	ポジショニング・スクール③

第14回	ポジショニング・スクール④
第15回	本講義のまとめ
第16回	レポート課題。

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習に2時間。
【復習】時間・内容	復習に2時間。

成績評価	
評価基準・方法	デザイン・スクール観点から、企業と経営戦略の関連性およびその仕組みを理解し、基本的な理論や専門用語を使って企業の経営戦略について説明できるようになる（確認テスト：20%）。 プランニング・スクール観点から、企業と経営戦略の関連性およびその仕組みを理解し、基本的な理論や専門用語を使って企業の経営戦略について説明できるようになる（確認テスト：20%）。 ポジショニング・スクール観点から、と経営戦略の関連性およびその仕組みを理解し、基本的な理論や専門用語を使って企業の経営戦略について説明できるようになる（確認テスト：20%）。 3つのスクール観点から企業、社会について分析・考察できるようになる（レポート：40%）。 ※各スクールのテスト方式は、講義内にて説明する。
フィードバック方法	第15回の授業で、テスト解説、改善等のフィードバックをする。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	<p>教科書：なし</p> <p>参考書：H. ミンツバーグ『戦略サファリ 第二版』。ただし、この分野は、日進月歩で常に変化しているので、随時、最新情報等の資料も紹介・配布する。</p>
受講上の留意点等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 状況によって講義内容の順番が前後する。または、他の内容に置き換える可能性がある。 2. レポートは論文形式のため、文章を書けるように努力する。 3. 資料は、配布しない。当日、提示するものを書き取る。 4. 講義開始前に、前講義のフィードバック、時事問題を多数扱う。
JABEE	